

公共交通マップ利用増加

～転入者に快適な暮らしを～

千葉琉宇成 運萬鍊 月舘海人
平井凧未 村井菜々花

1. 現在の公共交通の現状

①滝沢市と盛岡市間の充実した公共交通ネットワーク

- ・路線バスは、岩手県内において盛岡市に次いで2番目に路線数が多い
- ・交通事業者 3 社(岩手県交通・岩手県北自動車・JRバス東北)による運行

②大学への入学等による新たな世帯の転入

③高齢者における今後の移動手段に対する不安

2. 目的

- ・ 見てもらえる、必要とされるマップを作る
- ・ 多くの人に利用されるマップを目指す



公共交通マップの利用者拡大を目指す

3. グループ案の概要

- ・全体図で見るより、いくつか分割し詳細な情報を伝える
- ・転入者にわかるよう、主要な施設(病院・学校・コンビニ・商業施設など)を表示する
- ・マップの利用者の増加によって、公共交通機関の動機づけを促す

4. マップ作製

滝沢(大学)エリア・・・平井凧未

巢子駅周辺・・・千葉琉宇成

厨川駅周辺・・・運萬鍊

青山駅周辺・・・月舘海人

盛岡駅周辺・・・村井菜々花

イラスト制作・・・平井凧未 村井菜々花

5. まとめ・課題

- ・地区によって情報量が異なってしまうこと。
- ・時刻表の掲載が難しかった。
- ・バス停や駅から身近に歩ける範囲を中心に載せた。

6. このマップの利用で期待できること

- ・転入者が自分の住んでいる場所の近くに何がどこら辺にあるのかが分かる。
- ・徒歩の距離や時間が掲載されているため、目安になる。
- ・オススメの最寄りの駅やバス停を掲載していることで、公共交通に触れるきっかけとなる。